

知事記者会見の概要

日 時：令和2年4月5日(日) 15:30～15:43

場 所：記者会見室

出席者：知事、総務部長、健康福祉部長、医療統括監、
秘書課長、広報広聴推進課長

出席記者：17名、テレビカメラ7台

1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。

その後、フリー質問があり、知事等が答えて閉会した。

2 質疑応答の項目

発表事項

- (1) 県内における新型コロナウイルス感染症の確認事例について(第9～10例)

フリー質問

- (1) 発表事項に関連して

<幹事社：河北・共同・TUY>

☆報告事項

知事

それでは、本県で、9例目、10例目の新型コロナウイルス感染者が確認されましたのでお知らせいたします。

感染者9の方でございますが、20代の女性の方で、大蔵村にお住まいでございます。

3月31日から4月1日に、咽頭痛、喉の痛みですね、がありまして、2日に微熱と咳と痰があり、3日に味覚障害と咳、痰があったため、医療機関①を受診されました。昨日4月4日に、38度台の発熱と頭痛、咳、痰、鼻づまり、嗅覚障害があり、県の衛研で、県衛生研究所で検体検査をした結果、陽性と判明しました。

この方は、現時点で感染拡大地域への行動歴は確認できておりません。現在は、感染症指定医療機関に入院しております。

また、大蔵村の特別養護老人ホーム「翠明荘（すいめいそう）」の職員でありまして、本県3例目となった、新庄市の事例の関係者です。昨日公表しました、感染者5の方の勤務先の同僚であります。

次に、感染者10の方ですけれども、20代の男性で、上山市にお住まいの方です。

3月30日、31日に、39度台の発熱、咽頭痛がございました。4月1日は40度台の発熱と咳、咽頭痛があり、翌2日に医療機関②を受診しました。3日朝に発熱がありましたが、昼前に解熱、熱が下がったことですね。4日に県衛生研究所で検体検査をした結果、陽性と判明しました。この方は、3月26日夜に東京から山形へ来た友人と会食していたことがわかりました。現在は感染症指定医療機関に入院しております。

今後の対応としましては、しっかりと積極的疫学調査を実施し、感染者と濃厚接触のあった方に対して健康観察を実施するとともに、万が一症状が出た場合には、すみやかに保健所に連絡していただくよう指導してまいります。

県民の皆様には、連続して事例が発生しておりますので、大変驚いておられるかと思いますが、不確実な情報、いわゆるデマですね、そういったことに惑わされることなく、冷静に行動をいただきたいと思っております。そして、丁寧な手洗いとマスクの着用を含む咳エチケットなどの感染予防に今後もしっかりと引き続き取り組んでいただきますよう、お願いいたします。

1例目は県外の方でしたけれども、2例目以降の患者さんは、県内在住者の方であります。県民の皆様を守るために感染原因の特定を早急に進めることが重要だと考えております。

まずは、保健所を中心として濃厚接触者や感染経路等の調査をしっかりと行いますとともに、感染拡大防止に万全を期してまいります。

また、県外から本県へいらっしゃった方と接触した後に感染が確認される、そういう事例が多くなっております。県民の皆様には、法要などの行事、法事ですね、法要などの行

事を行われる際には、当面の間、県外からの参加を見合わせていただきたいと思います。引き続き、県外との往来を控えていただきますよう、慎重な対応をお願いしたいと思います。

なお、今日の報道で「家族内クラスター」との報道があつて、私ちょっとびっくりと言うか、驚いたのですけれども、感染者とその家族が、やはり、いじめにあうようなことにならないといいなど、ちょっと懸念したところでございます。それで、「新型コロナウイルス感染症」に伴ういじめといったことがですね、起こらないようにということで、教育委員会にもちょっと指示をしたところであります。そういったことが、本当に本県でならないといいなというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

また、いつも申し上げておりますが、報道機関の皆様には、患者の方及びご家族の情報の取り扱いについては、個人情報保護の観点からご配慮をお願いしますとともに、施設や医療機関等への取材はご遠慮いただきますよう、お願いいたします。私からは以上です。

☆フリー質問

記者

読売新聞の山口と申します。知事のご発言の中でも連続して発生しているということと、あと2例目以降は県内在住者の方の感染が広がっているということだったのですが、今のところ学校の再開の方針に関してですね、早いところだと明日から始まるころもあるかと思うのですが、あらためて県の方針を伺えますでしょうか。

知事

はい。学校の対応ですけれども、感染が確認された地域はそれぞれ始業式を、入学式を遅らせるというような対応を取っているところでございますが、その他の地域はですね、あと県立学校もあるかと思えますけれども、やはり子どもたちの間に感染が起こらないようにというようなことで、3密、3つの密をしっかりと避けるというようなことを改めてお願いしたいというふうに思っております。それをしっかりと学校内でですね、実行されるということでもあります。

また、そこで教育に従事される方々も、職員とかですね、ALTさんとかいろいろおられますけれども、やはり子どもたちに、もし、自分が感染すると子どもたちに影響が及んだりですね、大きな影響がありますので、しばらくの間、県外への往来は控えていただくようにというようなことも申し上げているというふうに聞いております。

記者

わかりました。県としては、その開催時期を延期させるとかそういった考えは、今のところは一律では考えていないということによろしいですか。

知事

そうですね。発生した、発生が確認された地域については、それぞれ遅らせるというようなことを聞いております。内容的にですね、確か4段階に、学校関係者が、発生が確認された場合とか濃厚接触者があった場合とか、確か4段階で考えていると聞いておりますので、そこをしっかりと守りながら、またとにかく衛生管理にしっかりと気を配りながらですね、進めていただければと思っております。

記者

日本経済新聞の浅山です。当然、不要不急の外出の自粛を要請されているというのは、ずっと続いているのですが、それぞれ家庭の事情もそれぞれですね、人によっては息子が言うことを聞かないとかですね、いろいろな事情があると思います。あとは事業者にとってもですね、実際うちの店は開いていいのかどうなのかと、いろいろ悩んでいる事例もあるかと思うのですが、ある意味で日本の場合そういう法的に規制することはできないのでしょうけれども、せめて政府のほうからですね、宣言を出して、より強力な形で法的な裏付けの形のある中でですね、自粛を要請すると、そういったことを今の段階で知事としては、いずれやったほうがいいんじゃないのか、それとももう今となってはもう少しさらに進んだことでやったほうがいいのか、そのあたりはどういうふうに思っています。

知事

そうですね。本県の事例を見てみますと、どの事例もですね、やはり首都圏と言いますか、そういったところが関連して発生していると言いますか、何と言いますか、要するに首都圏から「持ち込む」という言葉は、ちょっと良くないのかなと思いますけれども、移動した方から感染しているというようなことがありますので、そして、本県内でもですね、これから続くかもしれません。ちょっと感染して、その方の職場でありましたり、いろんなところがありますので、毎日毎日やっぱり本当にしっかりと封じ込めということをやっつけていかなければいけない。でもこれはやっぱり首都圏との関係で見ますと、こちらでは県民の皆さんには、県外との往来を控えてください、というようにお願いをしております。ですが、あちらからこう、来てしまうというような移動というのがありますので、そこは首都圏のほうでしっかりと対応をとっていただかないとどうにも止められないということが起きています。

ですから、本県も2桁台にもう乗ってしまったわけですね。これからも拡大すると考えられます。全力で封じ込めに力を入れますけれども、やはり何らかの措置を中央のほうでとっていただきたいと思っておりますし、いつとっていただけるのかと、なぜ今とっていただけないのか、その理由と言いますかね、どうしてなのかなという思いがありますね。

地方から見ますと、本当に首都圏のほうで火事があちらこちらで起きていて、その火種が飛び火していると言いますか、その火消しに躍起となっているのが地方の私どもの実情

のような気がしてならないんですね。ですから、大元をしっかり消火しなければ、していただきたいなというようなことは感じております。

記者

総理に緊急事態宣言を出してもらって、法的な裏付けのある形で各都道府県の知事が自粛を要請するということが適当ではないか、ということですか。

知事

そうですね。どんどこう増えているのはなぜかと考えた場合に、大元でしっかりとした対策をとっていただくことが大事なのかなと思います。

(補足：東京都の1日の陽性件数が)もう3桁になりましたですね、一日の感染者がですね。だから、いつがそのXデーなのかなというふうに思っております。